

ものづくり文化の道とは？

名 古屋の街は1610年の名古屋城築城から始まると言われています。清須にあった街をそっくり移す「清須越し」が行われ、城下町が形成されていきました。城下町に生活物資を運ぶ堀川や東海道と中山道を結ぶ美濃路がこのエリアを通過していたため、沿川・沿道に盛り場や門前町などの町人地が形成されていきました。当時は生活の場と生産現場が近くにあるのが一般的でした。ここでは、名古屋扇子や名古屋友禅、和風などの伝統技能が今日まで受け継がれています。

明 治に入ると、近代工業の立地が盛んになります。豊田自動織布工場（現在はトヨタ産業技術記念館として活用）や日本陶器合名会社の洋食器工場（現在は一部をナリタケの森として活用）がその代表です。さらに全国的にも有名な菓子メーカーや菓子問屋の集積が進みました。そして、江戸時代の盛り場から出発し、圓頓寺の門前町ともつながって形成されていった円頓寺商店街は、周辺で働く人々の日常生活を支える街として栄えてきました。

今 日までに、壊されたものもあれば、新たに加えられたものがあります。近世から近代へ、そして現在に至るまでの重層的な街がこのエリアなのです。その意味でここは名古屋の原型とも言えます。街は常に変化していますが、そこには変わらぬものがあります。今なお「ものづくり」の現場があり、「ものづくり」の精神が継承され、「ものづくり」の文化が息吹いているのです。元気なものづくり名古屋の源流はここにあり、私たちはこのエリアを「ものづくり文化の道」と呼んでいます。そして「ものづくり文化の道」は「名古屋駅から最も近い観光エリア」なのです。

「ものづくり文化の道」マップ

「ものづくり文化の道」をご案内します！

ガイドボランティアがエリアの魅力スポットをご案内します。
「ものづくり文化の道」マイスターの会
 ☎052-523-4525 (西区役所地域力推進室)



- 代表的資源
 - 宿泊施設
 - 屋根神さま
 - 菓子(製造・卸等)
 - 菓子(販売)
 - 飲食店
 - 玩具(卸等)
 - 玩具(販売)
 - トイレ
- 飲食店は、代表的資源から概ね100mの範囲で表示

名古屋の観光・イベント情報

名古屋市公式観光サイト

名古屋コンシェルジュ

URL <https://www.nagoya-info.jp/>

「ものづくり文化の道」情報発信空間

ナゴノスペース

名古屋駅から徒歩7分、高層オフィスビル「名古屋プライムセントラルタワー」の足元にナゴノスペースはあります。ちょうどここは「ものづくり文化の道」エリアの入口に位置する情報発信拠点です。

このナゴノスペースの中には、エリアの案内所や展示・交流スペースのほか、靴づくりを学んだり靴のオーダーメイドができる「シューズボナンザ」があります。

ナゴノスペース

名古屋市西区名駅2-27-6 ☎052-589-2770
 URL <http://www.nagoya-monodukuri.net/n-space/>

宿泊施設、飲食店情報はこちらでも！

地図上の情報は2020年11月現在のものです。現状とは異なる場合があります。